



自然のステンドグラス (写真：K.N.さん)

生態園 NEWS Letter

No 201

2021/1

NPO法人

茅ヶ崎公園自然生態園管理運営委員会事務局



Tel : 045-945-0816

E-mail seitaien@ybb.ne.jp

URL <https://www.seitaien.com/>

【昆虫】



【コカブトめ】 コガネムシ科

何気なく撮ったコガネムシの名前を家で調べていたら！何と、思いもよらぬ嬉しい出会いでした。(12/11)



【ウスキシテントウ】 テントウムシ科

黒色で淡黄色の紋がある3 mm程の小さなテントウムシです。(12/8)



【シロヘリクチフト
カメムシ】カメムシ科
南方系のカメムシで、今や本州でも分布を広げているようです。(12/12)



【ノコメトガリキリガ】
ヤガ科
晩秋に見られるガで、灯火によく飛来します。(12/22)

写真・文：山村靖男

【植物(樹の実)】

写真：K.N.さん



【ゴンズイ】

ミツバウツギ科ゴンズイ属
9月頃から赤い実をつけ、秋に割れて黒い種子が顔を出します。同じ名前のナマズ目の魚が存在し、その理由には諸説あるそう。



【ツルウメモドキ】

ニシキギ科ツルウメモドキ属
秋に黄色い実をつけ、12月頃に割れて赤い種子が顔を出します。メジロ等の鳥も好むようです。



【シオデ】

ユリ科サルトリイバラ属
秋に黒い実をつけます。実よりも「山アスパラガス」の呼び名を持つ新芽の方が山菜として知られているかも？



【キミノセンリョウ】

センリョウ科センリョウ属
センリョウの黄色い実が付く品種。マンリョウとともに正月の縁起物。
*センリョウの実葉より上、マンリョウの実葉の下側に付きます。



きみはだれ！？

謎の哺乳類
夜の生態園に現る！



前号掲載の、東京都市大学のY.I.さんのセンサーカメラを使った夜間の哺乳類調査の続編です！11月の夜、カエル池に設置したカメラの前を猫ほどの大きさの動物が横切りました。ぱっちりカメラ目線ですが、顔の一部しか見えません。この動物はなんのでしょうか？答えは次号で♪ ヒント：上の画像に映ったおでこの白いスジに注目！

画像：Y.I.さん

【12月のイベント・作業レポート】

森となかよしキッズイン生態園（12/6）



森の中の住人を探してお話したり、森の中の色々な形を探したり、どんぐりプールを作ったり、時間いっぱい遊びました。

写真：中村昌弘

【2月上旬までのイベント・作業】

詳細・お申込み・開催可否の確認はwebで♪

日時	活動	内容	対象
1/16(土)、24(日) 10:00~12:00	保全(作業)	ササ刈り・低木刈り等〈荒天中止〉 ＊軽食なし・飲み物は各自用意	おとな 小学生は親子
2/4(木) 9:30~11:30	草刈りボランティア (作業)	平日の園内で和やかな雰囲気ですササ 刈りを行います〈荒天中止〉	おとな

！いずれのイベントも、新型コロナウイルス感染拡大状況により直前でも中止となる場合がございます。

*毎月第3土曜日のネイチャークラフトは3月まで中止とさせていただきます。

*前号でご案内した「親子自然あそび〜たき火で焼き芋」は中止としました。

【来園前のご自宅での検温のお願い】

詰所の非接触型温度計が不調です。恐れ入りますが、皆さまには来園前にご自宅で検温を済ませていただくようお願い申し上げます。

イベントや保全作業では、受付時に当日ご自宅で測った体温を伺いますので、検温の上ご来園ください。

検温をされていない方は、参加をご遠慮いただく場合がございます。

皆さまが安心してご利用いただけますよう、ご協力お願い申し上げます。



【緊急事態宣言下での開園について】

1/7に緊急事態宣言が発令されました。横浜市では、公園の利用に関してはこれまでどおり継続するもの、との方針が出されており、それを受けて生態園は、通常通り土日祝に開園いたします。

イベントにつきましては、都度情勢を見て、また内容（他参加者や講師との接触する場面の有無等）により開催可否を判断し、随時ホームページの「イベント情報」ページに情報を更新して参りますので、ご確認ください。

第3土曜日・第4日曜日の保全作業と第1木曜日の草刈りボランティアは、他者との接触をする場面がほとんどなく、野外で広がって行うため、今のところは開催の方針です。ただし、作業直前であっても状況を見て中止とする場合もございますので、参加前はホームページの「お知らせ」欄や「イベント情報」ページをご確認いただけましたら幸いです。なお、開催の場合も、飲み物と軽食の提供は引き続き中止とさせていただきます、作業中はマスク着用を原則とさせていただきます（夏場は熱中症予防のため外していただくことも可としておりましたが、冬場は極力外さないようお願いいたします）。

林床で春を待ち望む山野草のように、この状況と寒さをやり過ごせばいいなと思っております。

赤木